

2025-2026年度 ロータリークラブ 活動目標と共同目標



2025-2026年度の注目点（現時点での情報から）：

- **年次会長テーマとロゴの廃止:** 2025-2026年度から、毎年の国際ロータリー会長テーマとロゴの作成が廃止されることが決定しています。今後は、複数年にわたる行動計画主導の会長メッセージがコミュニケーション委員会と戦略委員会によって提案・承認される枠組みとなります。
- **「よいことのために手を取りあおう」というメッセージ:** 2025-2026年度の会長メッセージとして「よいことのために手を取りあおう」が発表されています。このメッセージは、会員、参加者、一般の人々を鼓舞し、ロータリーの行動計画に沿って共に活動することを呼びかけるものです。クラブや地区のコミュニケーションにおいて、このメッセージが活用されることが推奨されます。

- **地域社会のニーズへの更なる注力:** 2024-2025年度からの流れを受け継ぎ、各ロータリークラブが地域社会のニーズを的確に把握し、それに基づいた奉仕プロジェクトを展開することが引き続き重視されると考えられます。
- **多様性・公平性・インクルージョン（D・E・I）の推進:** クラブとロータリーファミリーにおける多様性、公平さ、インクルージョンを育む活動の推進も、引き続き重要な目標となるでしょう。
- **ロータリー財団の活動:** ポリオ撲滅活動に加え、ロータリー財団の7つの重点分野（平和構築と紛争予防、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、地域社会の経済発展、環境の保全）における活動が推進されます。

3. インクルージョンとは？ - その定義と要素

- * インクルージョンの定義：あらゆる属性を持つ人々が排除されず、主体的に参加できる社会・組織づくり
- * インクルージョンの要素：
 - * 多様性の尊重 (Diversity): 個々の違いを認め、尊重する
 - * 公平性の確保 (Equity): 全ての人が平等な機会を得られるように働きかける
 - * 参加の促進 (Inclusion): 全ての人が意見を表明し、意思決定に関われるようにする
 - * 一体感の醸成 (Belonging): 全ての人が受け入れられ、安心して活躍できる雰囲気づくり

4. インクルージョン推進のメリット - 社会と組織への好影響

- * 社会全体のメリット:
- * より公正で平和な社会の実現
- * 多様な視点によるイノベーションの促進
- * 社会全体の活力向上
- * 組織（企業など）のメリット:
- * 優秀な人材の確保と定着
- * 創造性と問題解決能力の向上
- * 従業員のエンゲージメント向上
- * 企業イメージ・ブランド価値の向上

- **地域社会調査に基づく奉仕プロジェクトの実施:** 地域ニーズを把握し、持続可能なインパクトのある活動を行う。
- **会員増強と維持:** 多様な人材の入会促進、会員が積極的に活動できる環境づくり。
- **公共イメージの向上:** ロータリーの活動を地域社会に広く伝え、理解と協力を得る。
- **ロータリー財団への貢献:** 寄付や補助金活用を通じて、ロータリーの国際的な活動を支援する。
- **他クラブや地域団体との連携:** 協力関係を築き、より大きな活動成果を目指す。
- **研修への参加:** 会員自身の知識・スキル向上、クラブ運営の活性化。
- **ローターアクトクラブとの連携強化:** 若世代との交流と育成を図る。
- **D・E・Iへの取り組み:** 多様性を尊重し、誰もが参加しやすいクラブ運営を行う。

複数のロータリークラブが連携して取り組む共同目標としては、以下のようなものが考えられます。

- **地域を跨いだ大規模な奉仕プロジェクト:** 環境保全、防災支援、青少年育成など、広範囲に影響を与える課題への取り組み。
- **合同での会員増強活動:** 地域全体でのロータリーの認知度向上、合同入会説明会など。
- **知識・経験の共有:** 合同研修会や事例発表会などを通じて、各クラブのノウハウを共有する。
- **地域社会への共同アピール:** ロータリーの活動や理念を地域社会に向けて発信する合同イベントの開催。

スライド 2：国際ロータリーの全体的な方向性（継続）

- 4つの優先事項（2024-2025年度から継続）

1. より大きなインパクトをもたらす

- ポリオ根絶の継続、ロータリー財団への寄付増強、地域社会調査の推進

2. 参加者の基盤を広げる

- 会員基盤の多様化と拡大、新しい参加経路の創出

3. 参加者の積極的なかかわりを促す

- 会員のニーズ対応、参加ツールの充実、ローターアクトとの連携強化

4. 適応力を高める

- 革新的なクラブの発展、新たなパートナーシップ構築、公共イメージ向上

スライド 3：2025-2026年度の注目点

- 年次会長テーマとロゴの廃止
 - 複数年行動計画主導の会長メッセージへ移行
- 会長メッセージ：「よいことのために手を取りあおう」
 - 会員、参加者、一般の人々への協働の呼びかけ
- 地域社会のニーズへの更なる注力
 - ニーズに基づいた奉仕プロジェクトの推進
- 多様性・公平性・インクルージョン（D・E・I）の推進
- ロータリー財団の活動
 - 7つの重点分野における活動推進

スライド 4：ロータリークラブの活動目標（例）

- 地域社会調査に基づく奉仕プロジェクトの実施
 - 会員増強と維持（多様な人材の入会促進、活動しやすい環境づくり）
 - 公共イメージの向上（地域社会への積極的な情報発信）
 - ロータリー財団への貢献（寄付、補助金活用）
 - 他クラブや地域団体との連携強化
 - 研修への積極的な参加（知識・スキル向上、クラブ運営活性化）
 - ローターアクトクラブとの連携強化（若世代との交流・育成）
 - D・E・Iへの取り組み（多様性を尊重したクラブ運営）
-

スライド 5：共同目標（例）

- 地域を跨いだ大規模な奉仕プロジェクト
 - 環境保全、防災支援、青少年育成など
- 合同での会員増強活動
 - 合同入会説明会、地域への合同広報
- 知識・経験の共有
 - 合同研修会、事例発表会
- 地域社会への共同アピール
 - ロータリー合同イベント開催

スライド 6：今後の情報収集

- 国際ロータリー公式ウェブサイト
- 地区ガバナーからのメッセージ
- 地区大会や研修会などの情報
- 各ロータリークラブでの情報共有

スライド7：まとめ

2025-2026年度も、国際ロータリーの行動計画に基づき、各ロータリークラブが地域社会への貢献と会員の充実を目指した活動を展開していくことが重要となります。「よいことのために手を取りあおう」というメッセージを胸に、連携を強化し、より大きなインパクトを生み出しましょう。

注記: これは現時点での情報に基づいたスライド構成案です。今後の国際ロータリーや地区からの情報に基づいて、内容を適宜修正してください。